

# Youth Manna

マルコ1:35  
さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2023/3/20(月)

## マルコ10:32-45

- ヤコブとヨハネがイエス様に願ったことは何だったかな？この時のヤコブとヨハネの心にはどんな思いがあっただろうか？イエス様を愛する思いからだっただろうか？
- それを聞いていた他の10人の弟子は、なぜ腹を立てたと思う？
- 「人の子も-」とイエス様はご自分に倣うように言われたね(43-45)。「皆に仕える」とは君にとってどのようなことだろうか？今日一日の生活を通して考えて行動してみよう！

2023/3/21(火)

## マルコ10:46-52

- エリコという町に着いたイエス様を呼び求めたのはどんな人だった？
- 多くの人はバルティマイを黙らせようとしたけど、彼は諦めないでますます叫び続けたね。彼の姿勢からどんなことを学ぶかな？
- イエス様は「わたしに何をしてほしいのですか」とバルティマイに問われた。私たちの心にある本当の願いを引き出すために、イエス様は君にも語っておられるのではないだろうか？君が本当に願っていることは何だろうか？

2023/3/22(水)

## マルコ11:1-11

11章以降はエルサレムでのイエスの行動記録である。この箇所には、イエスがエルサレムに入られる場面が記されている。

当時、王様などが自分の権威を示すためには馬に乗ったが、イエスは子口バに乘られた。これは、イエスが、政治的な権力を持った王様としてではなく、ご自身の死によって人々を罪から贖い出す救い主として来たことを示そうとされたためである。マタイの福音書では、これが旧約聖書の預言の成就であったと述べられている(マタイ21:5)。

イエス様が、ご自分が低いものとなって、私たちに救いを与えてくださったことに感謝しよう！

2023/3/23(木)

## マルコ11:12-25

15-16v.イエス様は宮に入られた時、そこで商売をしていた者たちを追い出した。それは捧げものは動物でも他のものでも祭司に調べてもらう手間があるので既に調べられたものを高額で売ったり、それを買うための通貨の両替で暴利を得ていたためだった。神様の宮で働く者が暴利を得るとい考えられないことが行われていた。

24v「あなたがたが祈り求めるものは何でも、すでに得たと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。」

ただ、祈りが聞かれなかった、と思う経験をするにはある。少し難しく思うが、信じて祈るとは、信じる者がみことばに従って祈ることであり、そうであるなら祈りはかなう。ということである。信じて祈ろう！！

2023/3/24(金)

## マルコ11:27-33

昨日の箇所でイエス様が宮で商売をしている人たちを追い出したね。そのことで、祭司長、律法学者、長老たちがイエス様のところに来たよ。彼らは商人たちから多大の利益を得ていたから、イエス様に抗議するために来たんだ。

●イエス様は彼らの心の思いをご存知だったので、質問で返されたね(30)。その質問に対して、彼らはどう返答したかな？

●彼らはヨハネの言うことを信じていなかったけれど、群衆を恐れて答えることをしなかった。彼らは神様を恐れるよりも人を恐れていたんだね。自分の不利になることが嫌だから何も言わなかったという経験はあるだろうか？人の目ではなく、神様の目から見ても何が良いことなのかを思い出そう！

2023/3/25(土)

## マルコ12:1-12

イエス様は葡萄園の主人を神様、農夫をユダヤ人や指導者たち、跡取り息子をイエス様に例えて話された。それと同時に、イエス様が要の石となることも語っていたね。そんなにユダヤ人指導者たちがイエス様を認めなくても、神様の救いの計画が揺るがされることはないんだ。

その話を聞いた人たちはイエス様を捕らえようとしたけど、実際は群衆を恐れて手を出すことはなかった。自分の罪や弱さを自分でかくして守ろうとして恐れに支配されてしまったんだね。

自分の弱さや罪を正直に認めて神様に助けを求めるなら神様は助けてくれる！主の前に正直な自分で出て、思わされることをなんでも祈ろう！

2023/3/26(日)

## マルコ12:13-27

祭司長たちはイエスのことばじりをとらえようとして、パリサイ人とヘロデ党の者をイエスのところに遣わした。彼らがイエス様に向かってした質問は、どちらの答えを採っても、民衆の批判や反発、あるいはローマやローマ寄りの人々から攻撃の的となるものだった。

パリサイ人たちは、自分たちが聖書のことばに忠実であることを誇っていたけれど、その心は神様から遠く離れていたんだ。本当に聖書的であるのは、神様の愛に感動し、その教えを神様からのラブレターのように読む読み方や生き方ではないだろうか。私たちは日々の生活のうちでパリサイ人たちのようになっていないだろうか？神様の愛に感動しているだろうか？静まって思い巡らそう。